

情報モラルの守り方 ～楽しく安全な学び合いの場を作るために～

本資料では、スクールタクトで楽しく安全な学び合いの場を作るための手順や機能について解説しています。

スクールタクトは「共同閲覧モード」にすることで、新しい視点を得たり、友達の良い所を見つけたりなど楽しい学び合いの場を作ることができます。そのような場を作るためには、友達の回答を見る視点や、気づきを伝える言葉選びが重要です。その見方や伝え方を習得するための、また情報モラルを浸透させるための手順と機能です。

こちらの資料を参考に、学校内での意識向上・ルール策定等をよろしくお願ひいたします。

■ スモールステップで少しずつ理想の学び合いの場に！



STEP1 ルールを作る…先生も子供も最初が肝心です

初めてのICT活用に喜ぶ子供たち。ついつい羽目を外して、いつもと違う行動をしてしまうことがあります。

キャンバスにふざけた答えをかいたり、友達のキャンバスに落書きをしたり、ときには人を傷つけるようなコメントを書き込んでしまうこともあるかもしれません。

「ICTを使った授業も普段の学習規律と同じ」という意識を持って、子供たちとクラスのルールを決めておくとよいでしょう。

例)

- ・キャンバスは自分の考えを表現する場所
- ・友達のよい所を見つける
- ・友達が傷つくような言葉を書かない



児童生徒用の「3つのもらる」を配布して
みんなで考えてみるのもよいでしょう



「みんなで守ろう 3つのもらる」は、
[こちらのページ](#)でダウンロードできます ▶



STEP2 モラルを定着させる…まずは共同作業OFFにして先生がお手本を

モラルやルールが定着しないうちに「共同閲覧モード」にすると、不適切な内容の書き込みをされてしまう可能性があります。初めは「共同作業OFF」の状態で課題に取り組ませ、先生が大型投影機に投影した回答一覧画面から興味深い内容の回答をピックアップしたり、児童生徒のコメント欄に励ましのコメントをしたりするのがオススメです。

このように先生がお手本を示すことで、子供たちも適切な使い方を学ぶことができます。



STEP3 友達の回答を見る…共同閲覧モードにしましょう

モラルやルールが定着してきたら「共同閲覧モード」にして友達と回答を見合ってみましょう。児童生徒がコメントやいいねを送る活動に対して不安がある先生は、友達の良い所や真似したいと思った所を口頭で発表してもらうことがオススメです。適切な言葉掛けについてクラスで共通の理解が図れます。



STEP4 コメントをする…友達の回答にコメントやいいねをしましょう

「共同閲覧モード」で友達の回答を見ることに慣れてきたら、コメントやいいねをしてみましょう。STEP1で作った学級のルールやSTEP3で学んだ適切な言葉掛けについて気をつけながら取り組ませるとよいでしょう。コメントやいいねをする際には、以下のようなことに注意するとよりよい効果が生まれます。

例)

- まずは班の友達にコメントをしましょう
- コメントをする時は一人に1回までとしましょう
- 「〇〇という考えに共感しました」と伝えよう



授業後は「共同作業OFF」に戻しておくことで、授業以外で子供同士がコメントし合うことが防げます。



STEP5 みんなで交流する…授業チャットを使ってみましょう

子供同士のやりとりに不安がなくなってきたら、授業チャットを使うこともオススメです。

先生から全体指示を出したり、動画やファイルなどを共有するほかにも、子供同士で考えを共有したりヒントを出し合ったりすることもでき、深い学び合いが生まれます。



それでもトラブルが起こってしまった時は!?
しっかり対策をとっていたとしても学校生活にトラブルはつきもの。それは、クラス全体が弱っていることのサインかもしれません。そのような時は、今一度クラスで話し合う時間を設けていただき、よりよいクラス・ICT活用のあり方について考えていただきたいと思います。



鍵マークを押すことで先生のみがメッセージを送ることができます。

パスワードの設定の仕方や管理方法については「情報モラルの守り方～パスワード・端末管理～」をご参照ください。



「先生用 - 情報モラルの守り方(パスワード・端末管理編)」は、[こちらのページ](#)でダウンロードできます▲